

## 「エネルギーの未来像」の理解を深めるための4つの論点

### 論点1：自己紹介（10分）

電力・エネルギーについて感じていることなどを話しながら、自己紹介をしてください。

- お名前、ご職業など
- なぜ今回のテーマに興味を持ったのか？

### 論点2：日本におけるインフラのユニバーサル問題（20分）

人口減少社会を迎えている日本では、地方において、過疎化地域の増加が進んでいくと予測されます。現在都市部と地方の電力料金格差は小さくなっていますが、これは、都市部が地方の費用を補填しているから成り立っています。

この問題について皆様はどう思われますか？

また、今後どのような策を講じるべきでしょうか？

皆さんで話し合ってみてください。

（議論の視点）

- 人口減少を前提に

### 論点3：ビジネスの潮流（20分）

デジタル時代への変化、モノに魅力を感じない消費者などの影響から、利用価値や顧客体験そのものを提供するビジネスが新たな潮流となってきています。業種を問わず、そのような顧客体験を創造している企業を皆でだしあってみてください。

（例）

- Amazonによる読書体験を提供するKindle

### 論点4：新たな電力事業のビジネス立案（20分）

課題図書では、Utility3.0へのゲームチェンジと題して、従来の電力小売事業は消滅し、電力を利用した顧客サービスを提供する価値創造企業（UXコーディネーター）へと変革すべきだと説いています。

そこで、電力を利用して、新たな顧客体験を提供するビジネスモデルを立案してください。

（アイデア出しのポイント）

- どのような体験・価値を提供するのか
- 顧客は誰か
- 収益のポイントはどこか
- どのような事業者がビジネスを行うのか